平成27年度 公益社団法人日本介護福祉士会 中国・四国ブロックリーダー研修会 開催要項 **障害者支援のための研修**

- 1. 趣 旨 介護ニーズが増大・多様化するなか、介護職員の中核的存在である介護福祉士には「質の向上」及び「より専門的な対応」が求められている一方で、介護福祉士の研修制度の中で障害者に特化した研修体系が確立していない状況があった。 その為、公益社団法人日本介護福祉士会として障害分野に特化した研修体系を確立させるための事業として、「障害者支援のための研修」事業を企画・実施しているところである。 「障害者支援のための研修」事業では、研修制度の中で障害者支援に特化した研修体系を構築し、カリキュラム・テキスト等を作成した上で、日本介護福祉士会各ブロックでの継続的な研修の実施体制の構築を目指している。
- 2. 研修目的 障害者総合支援法施行や介護保険制度改正など制度が大きく変化する中で、障害者支援に従事する介護福祉士には、変化し続ける福祉動向にいち早く対応するとともに、多様化する利用者の個別ニーズを適切に受け止め、対応するより高い専門性が求められている。そのような状況の中、本研修は、障害者支援の専門性を有する介護福祉士として、職務にあたるための基本姿勢や事業所・施設内及び関係機関、団体と連携を図りながら質の高い支援を提供するための基礎的な知識・技術等を習得することを目的としている。
- 3. 主 催 公益社団法人日本介護福祉士会 中国・四国ブロック
- 4. 期 日 平成28年3月4日(金) 9:15~17:00 5日(土) 9:30~16:30
- 5.会場 広島県社会福祉会館 会議室1・2 (2階) 〒732-0816 広島県広島市南区比治山本町12-2 ※会場アクセス詳細は受講決定通知書に記載いたします。
- 6. 内 容 別紙「プログラム」のとおり
- 7. 講師 社会福祉法人「ゼノ」少年牧場 生活支援センターほほえみ 管理者 石原郁朗 特定非営利活動法人フェロージョブステーション 多機能型事業所フェローLabo 施設長 淺田稔 福山市西南部地域包括支援センター センター長 茨木孝幸 他 広島県介護福祉士会 役員
- 8. 参加対象 日本介護福祉士会会員 及び 障害者支援に携わっている介護福祉士 ※2日間とも参加できる方
- 9. 定 員 40人(先着順)
- 10. 参 加 費 日本介護福祉士会 会 員 4,000円(資料代含む)非会員 8,000円(資料代含む)
 - ※参加費は受講決定通知書に同封する払込取扱票により、指定の振込期日までに郵便局から お支払いいただきます。
- 11. 申込方法 受講申込書にご記入のうえ、FAXまたは郵送にてお申し込みください。申込受付後、順次、 受講決定通知書(または受講不決定通知書)を送付いたします。なお、一週間経っても通知 書が届かない場合は、下記問合せ先までご連絡ください。
- 12. 申込締切 平成28年2月24日(水)必着
- 13. 参加申込先 公益社団法人広島県介護福祉士会 事務局(担当:廣山) 問合せ先 〒732-0816 広島県広島市南区比治山本町12-2 広島県社会福祉会館内 TEL082-254-3016 FAX082-254-3017

障害者支援のための研修 プログラム

1日目(3月4日)

時間	科目	内容	目的(到達目標)
9:15~10:30	介護福祉士と障害者支援制度	・障害者支援に関する制度の成り立ち ・障害者総合支援法の改革の考え方(6つのポイント) ・障害者総合支援法のサービス支援体系 ・障害者支援に関する制度における介護福祉 士の役割 ・介護職員等によるたんの吸引等	・介護福祉士としての障害者支援へのかかわり方を理解している ・障害者支援に関する制度の概要を知っている
10:30~11:30	障害者支援における自立支援	・障害者支援の基本的な考え方 ・利用者のニーズ把握 ・利用者を捉える際の視点 ・自己決定を促がす介護支援	・障害者支援をする上で求められる基本的な 姿勢「利用者主体」の必要性を理解する ・「利用者主体」に基づく、障害者支援サー ビス提供手法を理解する
11:30~12:30	利用者主体のアセスメント	・サービス等利用計画と個別支援計画の連動 ・インテークで必要な視点 ・利用者との面接 ・見立ての措置他 ・介護福祉士によるアセスメント ・他職種連携によるアセスメント ・支援中のモニタリング、再アセスメント	・障害者支援を実施する際に、利用者を理解 した上で支援を提供することができる ・障害者を理解するためのアセスメントの手 法を理解している
13:30~15:30	事例検討「支援方針の作成演 習」	・事例検討《支援方針の作成演習》のガイダンス ・ニーズの把握 ・ストレングスの把握 ・総合的な支援方針の作成 ・長期、短期目標の作成 ・全体共有 ・講師の講評・アドバイス	・障害者支援を実施する際に、利用者を理解した上で支援を提供することの重要性を認識している・障害者のニーズ(要求)・ストレングス(強み)を把握できる・障害者を理解するためのアセスメントの手法を理解し、実施できる
15:30~17:00	障害者支援現場における権利 擁護	・権利擁護の視点 ・障害者虐待防止法について ・現場での虐待防止 ・成年後見人制度の活用 ・日常生活自立支援事業 ・権利擁護の視点を持った障害者支援の実施 ・現場での虐待防止	・権利擁護の視点を持ち、障害者支援を実施できる ・障害者虐待が不正な行為であることを理解 している ・障害者支援現場における虐待防止法を知 り、実行できる

2日目(3月5日)

時間	科目	内容	目的(到達目標)
9:30~10:30	障害者支援と地域連携	・支援協議会と相談支援事業 ・相談支援事業を介した他事業所との連携 ・地域にあるインフォーマルサービスの活用	・社会資源の活用の必要性を理解し、地域に どのようなものがあるか理解している ・多職種連携の必要性を理解している
10:30~11:30	介護過程の展開と個別支援計画の作成	・介護過程の理解 ・個別支援計画作成の意義 ・個別支援計画の作成 ・個別支援計画の修正(モニタリング)	・障害者支援を実施する際に、利用者を理解した上で支援を提供することができる ・アセスメントの結果を、介護過程の展開の中で反映する方法を知っている ・アセスメントの結果を反映した、個別支援 計画を作成することができる ・地域連携の視点を持って、個別支援計画の 作成ができる
12:30~15:20	事例検討「個別支援計画作成 演習」	・事例検討《個別支援計画作成演習》のガイダンス ・利用者の状態確認と全体像の把握 ・ニーズの把握 ・ストレングスの把握 ・総合的な支援方針の作成 ・長期、短期目標の作成 ・個別支援計画案の作成 ・個別支援計画案の発表 ・事例検討の結果をふまえた、講師の講評・アドバイス ・障害者支援を行う際の考え方・注意点	・障害者支援を実施する際に、利用者を理解 した上で支援を提供することができる ・アセスメントの結果を、介護過程の展開の 中で反映する方法を知っている ・アセスメントの結果を反映した、個別支援 計画を作成することができる ・地域連携の視点を持って、個別支援計画の 作成ができる
15:30~16:30	2日間のまとめ	・日本介護福祉士会「倫理綱領」 ・仕事での実践の在り方について ・全体共有 ・講師の講評・アドバイス	・介護福祉士としてのあるべき姿・役割の理解 ・日本介護福祉士会の「倫理綱領」の確認・受講者自身のエンパワメント

送信先FAX番号

082-254-3017

※番号の打ち間違いにご注意ください!

平成27年度 公益社団法人日本介護福祉士会 中国・四国ブロックリーダー研修会 **障害者支援のための研修 受講申込書**

			T .
ふりがな 受講希望者氏名		性別	男・女
受講希望者氏名 		生年月日	年 月 日
参加区分	会 員 • 非会員	会員番号 (会員のみ)	
介護福祉士資格取 得年月	年月	資格取得後の 実務経験年数	年か月
勤務先		役職	
障害者支援に 従事した経験	あり(年か月)なし	これまでに 携 わっ た 利 用 る 主 な 障 害	 ・肢体不自由 ・視覚障害 ・聴覚・言語障害 ・内部障害 ・精神障害 ・知的障害 ・発達障害 ・その他()
受講通知書 送 付 先 (連絡先)	₹ TEL	FAX	1

※お預かりした個人情報は、本研修の運営目的以外には使用いたしません。

【郵送の場合の送付先】〒732-0816 広島県広島市南区比治山本町12-2 広島県社会福祉会館内 公益社団法人広島県介護福祉士会 事務局 宛